



# 持続可能な社会の 創り手を育むために 地域資源を活用した授業の あり方をさぐろう

2020  
**1.11** (土)  
10:00-16:30  
(受付 9:45 ~)

～学校・行政・拠点の連携が、子どもたちのより深い学びを生み出す～

持続可能な社会の創り手を育むことを目指した学びの場においては、地域資源を教材にすることで、子どもたちが地域の歴史・文化等を踏まえ、地域の良さや課題などに気づき、地域を入り口にして社会全体、そして世界へと多様な視点を広げることができると考えています。また、子どもたちに持続可能な地域づくりに取り組む大人たちと適切なタイミングで出会わせることにより、持続可能な社会の創り手に憧れ、将来への希望をもって主体的に地域づくりに参画することが期待できます。本フォーラムは教員等の学校関係者、自治体職員、ESD に取り組む拠点等、地域における多様な主体が一堂に集い、学校教育における ESD やそれを取り巻く持続可能な地域づくりについて共に考えを深めることを通して、地域における ESD 推進ネットワーク構築の機会となることを目的に開催いたします。

2015年に国連サミットで「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、随所でSDGs(持続可能な開発目標)、またこの達成に向けた教育・人材育成への関心が高まりを見せています。学校現場においては、2020年度より小・中・高等学校において『持続可能な社会の創り手の育成』が明記された新学習指導要領が順次完全実施となることにより、今後、全ての学校教育においてESDの推進が求められていくことが予測されます。

## 会場

OMM(大阪マーチャンダイズ・マート)  
201・202 会議室

(大阪市中央区大手前 1-7-31 OMM2 階)  
京阪電車「天満橋」駅東口、  
Osaka Metro 谷町線「天満橋」駅北改札口  
から OMM 地下 2 階に連絡

## 対象

学校教員・教育関係者、自治体職員、  
博物館・環境学習施設・社会教育施設等  
の地域拠点、学校と連携した ESD に取り  
組む団体・組織、教員を目指す学生等

## 定員

100名 先着順  
(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

参加費 無料

●申込方法：E-mail 又は FAX にて、参加者全員のお名前、所属、連絡先(E-mail 等)  
「11日フォーラム参加希望」とご記入の上、下記宛先までお申し込みください。  
(2020年1月8日(水) 17:00〆切)

近畿地方 ESD 活動支援センター(きんき環境館内) 担当：蒔田、中澤  
E-mail: office@kinki-esdcenter.jp FAX: 06-6940-2022 お問合せ TEL: 06-6948-5866

主催：環境省近畿地方環境事務所、近畿地方 ESD 活動支援センター

後援(申請中)：滋賀県 滋賀県教育委員会 京都府 京都府教育委員会 大阪府 大阪府教育委員会  
兵庫県 兵庫県教育委員会 奈良県 奈良県教育委員会 和歌山県 和歌山県教育委員会

## 【プログラム(予定)】 ※時間は前後する場合がございます

- 10:00 開会行事
- 10:10 基調講演「SDGsにつながるESDの実践」 室 貴由輝氏(岡山県教育庁高校教育課 参事)
- 11:00 地域資源を活用した授業実践とESDの指導案発表「オオサンショウウオの住む川を守り続けよう」  
足立 康輔氏(長浜市立高時小学校 教諭)
- 11:30 学習施設と連携したESDの授業  
事例紹介①「動物園への遠足からつなげる生物多様性の授業」  
中澤 哲也氏(平群町立平群北小学校 教諭)、市川 晴子氏(大阪市天王寺動物園 獣医師)
- 事例紹介②「学習拠点との連携による流域を活かした授業づくり」  
尾上 忠大氏(森と水の源流館 事務局長 ☆「地域ESD拠点」登録拠点)  
中谷 栄作氏(橋本市立あやの台小学校 教諭)、島 俊彦氏(大和郡山市立郡山西小学校 教諭)
- 12:30 休憩(適宜昼食)、地域でESDを推進する拠点によるブース展示・交流
- 13:40 ESD-SDGs ワークショップ  
1部:主体別に分かれて取組の交流  
2部:主体を越えた新たなネットワークの形成・協働によるSDGsにつなげるための授業づくり
- 15:40 全体会
- 16:20 閉会行事

## 近畿 ESD フォーラム 2019 年度について

近畿地方 ESD 活動支援センターでは、学校教員による「ESDの視点で地域資源を活用した学習指導案の作成・実践」を応援する事業を進めています。

2019年度は、長浜市立高時小学校(滋賀県)で実践されている総合的な学習の時間における系統的な指導に着目して授業づくり支援を行いました。地域資源、地域人材を有効に活用した事例をもとに、さらに地元自治体や近畿 ESD コンソーシアム(☆「地域 ESD 拠点」登録拠点)との連携の下、持続可能な社会の創り手を育むべく、「主体的・対話的で深い学び」に、より一層迫る指導案の作成を目指しました。その成果をご発表いただきます。

また、近畿 ESD フォーラム 2018 年度の授業づくりワークショップで作成した授業構想や、そこでつながったネットワークを活かして、2019 年度に実際に授業をおこなった事例をご紹介します。

☆「地域 ESD 拠点」登録拠点とは・・・ESD 活動支援センター(全国)では、地域で ESD を支援・推進する組織・団体等の登録制度をはじめとしています。詳しくは、ESD 活動支援センター(全国)ホームページの「地域 ESD 拠点」のページ(<https://esdcenter.jp/kyoten/>)をご参照ください。



2018 年度 授業づくりワークショップの様子

**近畿地方 ESD 活動支援センターでは、  
学校教員による「地域資源を教材にした授業」  
自治体の「地域施策に基づく情報・ネットワーク」  
地域の拠点における「ESD 実践を補完する専門性」をつなぎ、  
子どもたちの“主体的・対話的で深い学び”を促します。**

環境省と文部科学省の共同提案により、ESD 活動に取り組む様々な主体が参画・連携し、情報や経験を共有できる場として、ESD 推進ネットワークの構築を目的とした ESD 活動支援センター(全国センター)が 2016 年 4 月に、また 8 ブロックの地方センター(※)が 2017 年度に設置されました。

近畿地方 ESD 活動支援センターでは、ESD 活動を支援する情報共有発信、現場のニーズを反映した ESD 活動の支援、ESD 活動のネットワークの形成、人材育成等に取り組み、ESD の広がりと深まりを通じて、地域の諸課題の解決と教育の質の向上、SDGs 達成に向けた意識・行動変革を推進します。

※ 地方 ESD センターは、当面、全国 8 カ所にある環境省の環境パートナーシップオフィス(地方 EPO)を活用することとされており、近畿地方 ESD 活動支援センターは近畿環境パートナーシップオフィス(きんき環境館)がその運営を担い、きんき環境館と同じ事務所内に開設されています。